

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(24)

平成 26 年 9 月 29 日

村山 章

デング熱の国内感染が 70 年ぶりに確認されたとのこと。海外で感染し帰国後発症する人の数が去年はこれまでで最も多く、249 人が確認されたそうです。全世界では、年間約 1 億人のデング熱患者が発生しているそうですから、グローバル化された現在、70 年ぶりに国内で感染者が出たとしても全く不思議ではありませんね。国内感染者は現在 133 名に上るらしいです。しかし、公衆衛生が進んでいる日本ではさすがに大事になりません。

一方、西アフリカではエボラ出血熱が発生し、死者はすでに 2,000 人にもなっているようです。倍、倍、倍と感染が急激に進んでおり、感染者はこのままだと来年には 100 万人以上になってしまうという予測も出ています。死者も何万人、何十万人になる可能性があるようです。恐ろしいことです。同じ人類として何か手立てをしたいものです。

デング熱もエボラ出血熱も同じウイルス感染症のようです。ウイルスは、細菌より遥かに小さく、生きた細胞に侵入して増殖する微生物です。ウイルス感染による病で私たちに身近なのは、風邪とインフルエンザですね。デング熱とエボラ出血熱は空気感染がないようですが、風邪とインフルエンザは空気感染があるので厄介です。

私たちの体は約 60 兆もの細胞でできていて、その一つひとつは人間にとって大切な役割をもった生命体です。そして私たちの腸の中には 100 兆もの細菌が生息しているそうですから、ミクロの世界はミクロの世界ならではの興味深い様相が展開されています。しかし、目には見えないウイルスや細菌が簡単に人の命を奪ってしまうのですから恐ろしいですね。ただ、一つのウイルスや細菌は全く弱い存在ですから、早期に対応すれば大事には至りません。心身を活性化させ、自己調節機能を高めて生きれば風邪もインフルエンザも怖くはありません。ほとんどの病気を治す力があるといわれる自己調節機能を高めることが、何より大切です。